

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.22

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

あおり短角牛の魅力を探る！PRイベントを開催 シェフらと意見交換会

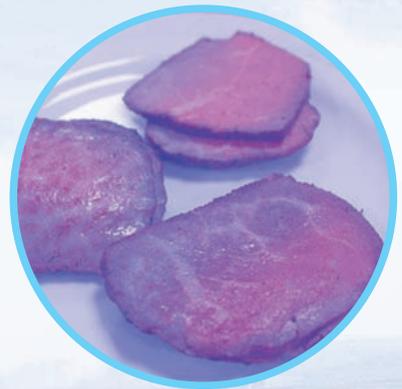


2月5日、青森市のアピオ青森にて同市内のレストランシェフを対象とした試食会と意見交換会を開催した。地元のシェフたちに本県の特産畜産物である日本短角牛の特徴と良さを理解してもらい、レストランで提供されることで地元の消費拡大を図るのがねらい。

今回は、味香り戦略研究所の菅慎太郎氏による講演や、日本短角種、黒毛和種、黒毛とホルスタインの交雑種の3種類の牛肉を食べ比べ、最適な調理

法や販売方法についての意見交換を行った。サーロインやモモの部位をステーキ、ロースト、煮込みの調理方法で試食。シェフからは「短角は少し固めだが肉本来の旨みが一番わかる」「さっぱりしているので飽きが来ない」「黒毛と同じ売り方ではなく、肉の部位と調理法の工夫で短角が生き残る道を探してはどうか」などさまざまな意見が出された。また、加工法の提案として熟成肉（エイジングビーフ）が挙げられ、自身の店で熟成肉を提供しているイタリアンのシェフは「しっかり熟成させれば短角の固い部位も十分柔らかくなる。脂肪が多すぎると酸化するだけなので、赤身が強い短角牛は熟成に向いている」と評した。

今後は県内で短角牛の特徴を活かした料理を食べられる飲食店の紹介など、消費者への情報発信の強化に努めたい。



一般社団法人への移行に伴う名称変更のお知らせ

本協会は、平成25年3月21日付け指令第707号で青森県知事から一般社団法人への許可を受け、平成25年4月1日をもって名称を変更しましたのでお知らせ致します。

今後とも関係機関、団体との連携を密にし、畜産振興に努めて参りますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新名称 一般社団法人 青森県畜産協会 略称 (一社) 青森県畜産協会

生産者補てん金 交付状況

○肉用子牛生産者補給金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円	116,000円	181,000円
合理化目標価格		268,000円	247,000円	142,000円	83,000円	138,000円
平成24年度 第4四半期 (1月～3月)	平均売買価格	452,700円	401,800円	170,800円	105,400円	241,200円
	交付単価	—	—	33,200円	10,600円	—
	交付額	—	—	1,992,000円	13,345,400円	—

○肉用牛繁殖経営支援事業交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		380,000円	350,000円	250,000円
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円
平成24年度 第4四半期 (1月～3月)	平均売買価格	452,700円	401,800円	170,800円
	交付単価	—	—	34,500円
	交付額	—	—	2,070,000円

○養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	保証基準価格	枝肉平均価格	補てん金単価
平成24年度 第4四半期 (1月～3月)	460円/kg	391円/kg	4,250円/頭

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業 補填金交付状況

	肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成25年 2月期	—	78,300円	69,200円	4月23日
平成25年 3月期	—	45,800円	65,600円	5月23日

飼料生産等に関する補助事業のお知らせ

国では飼料自給力強化のために平成24年度補正事業として公共牧場の再生・放牧施設の機能向上及びコントラクター等の業務改善や機能強化が図れるよう各種補正事業を予算化しており、事業実施にあたり当協会も取り組むこととなりました。事業を希望する場合は、当協会までご連絡をお願いします。なお、この事業の取り組む期間は平成25年度末までです。

1 飼料自給力強化支援事業

- ①公共牧場等の放牧地などの再生、放牧施設の機能向上（補助率：2分の1以内）
共同利用される採草地や放牧地において、ア. 調査、イ. 荒廃箇所（最大1ヘクタール）の再生改良、ウ. 放牧施設の機能向上に支援します。
- ②TMRセンター等の業務改善と機能強化（補助率：定額、2分の1以内）
コンサルタント等を利用したセンターの経営診断や機能強化（バンカーサイロの機密性を高めるための舗装、圧縮梱包機の導入）に支援します。
- ③コントラクター等の草地等の集積、共同利用推進（補助率：2分の1以内（上限17万円/ha））
コントラクター等が草地等の集積を行い飼料の共同利用を行う場合のア. 草地への転換、イ. 草地の更新、ウ. 高エネルギーの作物への転換に支援します。



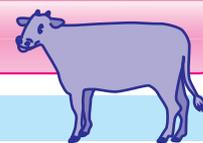
2 飼料受託組織等経営高度化緊急支援事業（1/2補助付きリース事業）

コントラクター等の経営の高度化に必要な機械のリース方式による導入を支援します。
（補助率：物件の購入相当額の2分の1以内）

- ・貸付対象となる機械が決まっています。なお、トラクターについては県知事協議の上対象となります。
- ・機械の借り受け者は、経営の高度化を図るコントラクターやTMRセンターその他の飼料生産組織です。

お問合せ先／経営支援課（担当 山田） TEL：017-723-2775

青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表 【開催日 25年4月12日】 <速報値>

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	344	744,450	214,200	514,506	303	313	1,644	393	513,196	1,663	-19
	雌	291	735,000	160,650	394,988	311	283	1,396	303	404,195	1,433	-37
	【小計】	635	744,450	160,650	459,735	306	299	1,537	696	465,743	1,568	-31
日本短角種	雄											
	去	2	266,700	258,300	262,500	294	321	818				
	雌								3	148,400	484	
	【小計】	2	266,700	258,300	262,500	294	321	818	3	148,400	484	334
和牛間交雑 (短黒×黒)	雄											
	去	1	227,850	227,850	227,850	281	306	745				
	雌											
	【小計】	1	227,850	227,850	227,850	281	306	745				

・黒毛和種の取引頭数は635頭で、前回より去勢49頭減、雌12頭減、全体で61頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は460千円で、前回より去勢1千円高、雌9千円安、全体で6千円安となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	162	524,793	314	1,672	303	104	391,973	278	1,410	313	266	472,863	1,577	307	42.4
安茂勝	51	506,018	319	1,588	302	50	405,825	297	1,367	308	101	456,417	1,483	305	16.1
北乃大福	16	513,516	304	1,691	311	12	413,088	269	1,537	308	28	470,475	1,630	310	4.5
百合茂	12	585,288	322	1,819	291	12	443,975	306	1,452	301	24	514,631	1,640	296	3.8
北平安	8	509,119	296	1,722	305	10	385,875	276	1,400	314	18	440,650	1,549	310	2.9
福安照	6	535,675	304	1,762	291	11	413,127	279	1,481	306	17	456,379	1,586	301	2.7
総合計	343	514,727	313	1,644	303	285	394,063	283	1,391	311	628	459,967	1,535	306	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で42.4%、次いで「安茂勝」16.1%となった。
 ・第一花国の平均価格は473千円で、前回に比べ2千円高となった。単価は1,577円で前回より1円安となった。

【開催日 25年5月10日】 <速報値>

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	374	670,950	52,500	508,700	300	317	1,606	344	514,347	1,644	-38
	雌	277	737,100	203,700	413,097	309	291	1,422	292	395,397	1,397	25
	【小計】	651	737,100	52,500	468,021	304	306	1,532	636	459,735	1,537	-5
和牛間交雑	雄											
	去	2	161,700	80,850	80,850	340	275	294				
	雌											
	【小計】	2	161,700	80,850	80,850	340	275	294				
日本短角種	雄											
	去	1	120,750	120,750	120,750	294	295	409	2	262,500	818	-409
	雌											
	【小計】	1	120,750	120,750	120,750	294	295	409	2	262,500	818	-409

・黒毛和種の取引頭数は651頭で、前回より去勢30頭増、雌15頭減、全体で15頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は468千円で、前回より去勢6千円安、雌18千円高、全体で8千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	151	517,740	318	1,629	301	119	410,524	294	1,394	310	270	470,486	1,530	305	41.5
安茂勝	56	495,206	321	1,543	301	46	416,576	301	1,383	307	102	459,746	1,473	304	15.7
百合茂	23	540,522	327	1,652	291	7	486,000	291	1,671	297	30	527,800	1,656	292	4.6
北乃大福	11	540,368	308	1,753	299	11	441,764	272	1,622	312	22	491,066	1,691	305	3.4
安福久	17	521,232	302	1,725	308	4	438,375	280	1,564	316	21	505,450	1,696	310	3.2
茂勝栄	12	516,950	311	1,661	305	6	413,875	298	1,387	301	18	482,592	1,572	304	2.8
総合計	374	508,700	317	1,606	300	277	413,097	291	1,422	309	651	468,021	1,532	304	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で41.5%、次いで「安茂勝」15.7%となった。
 ・第一花国の平均価格は470千円で、前回に比べ2千円安となった。単価は1,530円で前回より47円安となった。

次回開催日は6月7日（金）です。

第6回あおもり堆きゅう肥品評会 受賞者決まる



1月30日、第6回あおもり堆きゅう肥品評会の表彰式が県主催の安全・安心な農産物生産推進大会の中で開催された。

この品評会は、県内の畜産堆肥の品質向上と利用促進を目的に畜産協会が毎年開催しているもので、今年で6回目を迎えた。今年度は初めて知事賞が設けられ、最も良質な堆肥生産者と評価されたゆうき青森農業協同組合へ渋谷県農林水産部長より賞状が贈られた。

◇知事賞◇
ゆうき青森農業協同組合

◇土づくり系堆肥部門 優秀賞◇
ゆうき青森農業協同組合
社団法人 東通村産業振興公社
福沢 秀雄
株式会社 川村畜産

◇肥料系堆肥部門 優秀賞◇
有限会社 フレック農産
株式会社 川賢
(敬称略、順不同)

さあ、春の一斉予防注射の時期になりました！県内で接種始まる

春の一斉予防注射の時期になり、放牧する牛や子牛の接種を実施した。

今回は、十和田市地域の接種へ同行し、4月8日から8日間で225戸の生産者を6名の獣医師で巡回した。

【対象】

- 牛クロスト3種混合……………発熱、筋肉浮腫の予防
- 牛アカバネ病……………流産、死産、早産、奇形の発病予防
- 牛5種混合①牛伝染性気管炎
- ②牛ウイルス性……………下痢・粘膜病
- ③牛RSウイルス……………発熱、咳、鼻汁



福村獣医師



高村獣医師

- ④牛アデノウイルス感染症……………流産、下痢
- ⑤牛のパラインフルエンザ

十和田地域エコフィード推進協議会 エコフィードシンポジウムを開催

3月11日、十和田市「富士屋グランドホール」にて、十和田地域エコフィード推進協議会の総会及びシンポジウムを開催した。

総会では、24年度の実績について報告し、三年間の活動のまとめや課題、今後の推進等について協議された。検討を重ねてきた野菜残さの飼料化は、乾燥のコスト等が課題であり、資金面で行政やJAの協力が必要とされた。また、エコフィード畜産物の出口戦略について、エコフィードを利用した場合におけるメリットの明確化が課題として挙げられた。

後半はシンポジウムが開催され、神奈川県でエコフィード養豚を実践する(有)臼井農産代表の臼井 欽一氏による講演や、神奈川県畜産会 橋本聡 部長による県内の取組み紹介などが行われた。

また、地元の養豚経営者を交えた座談会では、現場にエコフィードを導入する際の課題について専門家への質問が飛び、コスト面でメリットがはっきりせず実施に踏み切れないなどの意見が出た。

会場ではエコフィードで飼育した豚肉と一般豚肉の試食アンケートも行われ、7割強の回答者が「エコフィードを利用した豚肉の方が肉の色、味ともに良い」と答えた。



平成25年度 担当者会議を開催

新マルキン事業 推進会議

4月15日、青森市において、「平成25年度肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)推進会議」を開催した。会議には、県庁畜産課、各地域県民局、農協担当者など46名が出席した。

会議において、平成22年度から開始した新マルキン事業(第1業務対象年間)が平成24年度で終了し、新たに開始する平成25年度から平成27年度までの3年間の第2業務対象年間の事業概要や、それに伴う事務処理について説明した。

特に、新たに事業が開始するため、肥育牛補填金交付契約を締結する必要があるため、その申請等スケジュールを重点的に説明した。

なお、肥育牛補填金交付契約締結日については、平成25年6月14日までに締結する。

肉用子牛生産者補給金制度 担当者会議

4月24日、青森市のラ・プラス青い森で肉用子牛生産者補給金制度に係る担当者会議を開催した。

今年度から、生産者補給金の発動基準となる保証基準価格と合理化目標価格が全品種で引き上げられることとなったため、これまでより補填金交付の機会が増えることから、生産者の制度加入を促すとともに、事業の適正な実施をお願いした。

また、補給金制度を補完する肉用牛繁殖経営支援事業が25年度から改正され、事業に参加する生産者は、出荷月齢の早期化などによるコスト低減に向けた取組努力目標を設定することが必要となった。

この事業の発動基準価格も全品種で2~3万円引き上げられ、黒毛和種では41万円を下回ると補填金が交付されることから、出荷月齢の短縮によるコスト削減について説明し、事業への積極的な参加を促した。

肉用牛経営安定対策補完事業 推進会議

5月14日、青森市のラ・プラス青い森にて平成25年度肉用牛経営安定対策補完事業に係る推進会議を開催した。

県畜産課、各地域県民局、畜産団体、県内農協の担当者など約30名が出席した。本事業では肉用牛繁殖基盤の強化を目的に、繁殖雌牛の増頭や導入に対する支援、肉用牛ヘルパー活動への支援、地方特定品種や山振地域の振興対策などを実施する。会議では各事業内容や事業要件などの説明を行った。また、県畜産課から肉用牛改良の推進を目的に優良種雄牛の利用促進を支援する家畜改良推進事業についての説明も行われ、積極的に事業を活用するよう呼びかけた。

養豚経営安定対策事業 説明会

5月7日から10日にかけて、青森市・十和田市・八戸市の計3つの会場で平成25年度養豚経営安定対策事業説明会を開催した。

平成25年度からは補填金の算出方法が改定され、四半期毎に算出する粗収益が生産コストを下回った場合にその差額の8割が補填されることとなった。また、補填金交付の早期化を図るため、希望者に対し概算払を導入することで、約1ヶ月早く補填金の交付を受けることができるようになった。

3会場で延べ52名の養豚生産者及び関係団体担当者に出席いただき、上記の変更点や事業に参加継続する場合に提出する書類の記載方法等について説明を行い、事業の周知を図った。



国産牛肉新需要創出緊急対策事業 意見交換会 盛岡市で開催

3月8日、今年度から新たに始まる国産牛肉新需要創出緊急対策事業の意見交換会が盛岡市で開催された。事業を実施する全国肉用牛振興基金協会が主催したもので、北東北3県と北海道で飼養されている日本短角種が事業対象となるため、農林水産省や各県及び団体の担当者らが集まり、事業の説明や、青森、岩手、秋田3県の短角牛の現状把握、意見交換などが行われた。

本事業は、消費者のニーズが高まりつつある脂肪交雑以外の品質を持つ牛肉（日本短角種、褐毛和種、乳用種）の需要を創出するため、生産、加工、流通、販売業者が一体となった協議会の設立、ニーズの調査、訴求ポイントの科学的検証、販路開拓、合同商談会等を行い、最終的には新規ブランドの立ち上げ、低需要部位を使った加工品の試作、試作品の商品化までを視野に入れている。

全国協会は各地域の短角ブランドや飼育方法などはそのままに、それぞれの短角牛を併せた「創出事業の短角牛」として全国の一般消費者への普及を図って行きたいとしている。

県内豚肉をPR!!ソーセージ教室 開催



2月15日、青森市アピオあおもりにて、消費者を対象に豚肉消費拡大イベント（第1回）として「手作りソーセージ教室」を開催した。県産豚肉のおいしさを消費者へPRするため初めて企画され、手作りソーセージ体験をした後、焼きたてパンとサラダと共に全員で試食した。講師には（財）新郷村ふ

ろさと活性化公社の角岸秀伸氏、田沢匡輝氏を迎え、自分でも作れるソーセージづくりを講演、参加者からは、是非2回目も企画して欲しいと声があがった。平成25年度についても実施する予定。

今年で10年目!! モーモー母ちゃんの集い

3月15日、「第10回モーモー母ちゃんの集い」が十和田市の奥入瀬 森のホテルで開催された！この集いは年1回毎年開催しており、今年で10回目を迎える。

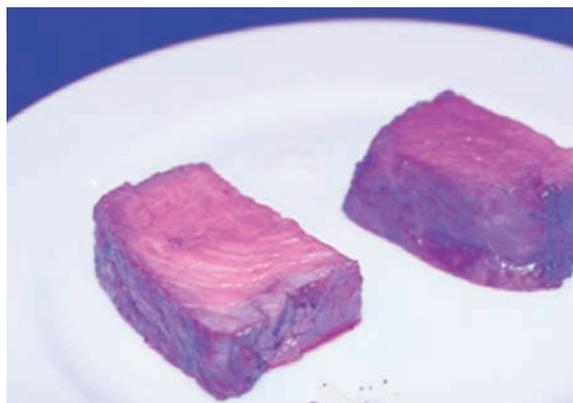
今年は、畜産研究所和牛改良技術部の鈴木晶夫氏を講師を招き、昨年行われた全国和牛共進会について青森の成績発表と今後の取組について技術的な提案があった。参加した母ちゃんらは「次の宮城全共までに、人前で堂々と立ってられるような牛を作り上げたい」と意気込みを見せた。

後半は、NPO法人日本YOGA連盟指導員の澤田いく子講師による、健康な体づくりのためのヨガが行われ、参加者たちも体を動かしてリラックスしたムードに包まれた。会場脇には「相談コーナー」も設置され、飼養管理や補助事業など畜産に関することから、健康や美容についての相談など多岐に渡り参加者より持ちかけられた。

今年の参加者は55名と昨年に比べ多少少なめだったが、初めて参加した母ちゃんも多く、仲間作りの輪が広がった。モーモー母ちゃん実行委員長の新屋敷より子さんは、「今年は全国モーモー母ちゃんの集いが宮崎県で開催される。全国のモーモー母ちゃんたちと交流を深め、畜産を盛り上げていこう！」と参加を呼びかけた。



あおもり短角牛の魅力を探る！PRイベントを開催



D.A.B講座

3月17日、青森市のイタリアンレストラン「アル・チェントロ」にて、熟成牛肉（ドライエージングビーフ）の勉強会を開催した。

ドライエージングビーフとは、保存をしつつ熟成させて更に柔らかく美味しく食べられる様に加工した肉のことで、芳醇な香りと味わいが評価され最近注目されている加工手法である。

今回は、先日の意見交換会に参加したシェフらを対象に、ドライエージングに加工するための手法や課題などが話し合われた。講師に元 青森食肉加工株式会社 代表取締役

社長の桑原和典氏を招き、食肉加工センターで取り組んだ熟成手法について講演頂いた。参加したシェフらは、熟成時の温度、湿度管理や、熟成段階の見分け方などについて学び、実際にレストランなどで実践できるのか検討した。また、熟成牛は外側のロスが大きい、「料理として提供する場合、採算が合うか心配」と課題も挙げられ、実際に店で提供しているシェフからは「歩留は5割程度、コース料理の一部として出さなければ採算は合わない」との意見もでた。

会場では熟成牛の試食も行われ、普通の牛肉と一味違った熟成牛の香りを確かめた。

あおもりカレーまつり出展

1月12日～14日の3日間、青森市のアスパムにおいて開催されたあおもりカレーまつりに県産短角牛を使用したカレーを提供しPRを図った。県内各地域の食材を活かしたカレーライスが出品されるこのイベントは毎年6千人以上もの人が訪れる。今年は協会初の試みで、青森市のイタリアンレストランとコラボし、短角牛の低利用部位であるスネ肉を使ったトマトベースのカレーを提供した。長時間煮こまれたスネ肉はとて柔らかく仕上がり、用意した400食は最終日の午前中には完売し大盛況であった。



函館バル街出展

4月19日、函館市で開催された函館バル街に青森市の店が出展し、県産短角牛の料理を提供した。函館バル街とはチケット1枚で飲み物1杯と料理1品が楽しめるシステムで函館市内はもちろん、青森市や八戸市、弘前市などから約70店もの飲食店が参加した。2回目となる今回は短角牛のスネ肉とバラ肉を使った煮込み料理を提供し、パンフレット配布など現地でのPR活動を実施した。「肉に旨みがある」「赤身の味が濃い」など好評を得たが、あおもり短角牛の知名度はまだ低かった。今後はイベント等に積極的に参加し消費者の目に触れる機会を増やしてPR強化を図りたい。

あおもり短角牛を使ったメニューがA-lineに出店します！

開催日時：平成25年7月6日（土）10:00～17:00、7月7日（日）9:00～17:00

開催場所：モヤヒルズオートキャンプ場（青森市雲谷字梨野木63）

青森市で行われる大型クラフト市「A-line」にあおもり短角牛を使った露店が出店します！ぜひあそびにきてね♪





インフォメーション



◆ 平成25年度 通常総会開催のご案内 ◆

開催日時：平成25年6月20日（木）13:30より

開催場所：ラ・プラス青い森（青森市中央1-11-8）

議案：平成24年度事業報告書及び収支計算書、平成25年度事業計画及び収支予算について 他

◆ 獣医師研修会を開催します ◆

開催日時：平成25年7月16日（火）11:00～15:00

開催場所：青森県原燃テクノロジーセンター 第1研修室（東北町字乙供58）

参集範囲：獣医師、区市町村、県家畜保健衛生所、畜産関係団体、地区家畜衛生推進協議会

内 容：講演1「牛ヘモフェイルスの有効性及び使用上の留意事項について（仮）」

講師（株）微生物化学研究所技術企画部 部長 函城 悦司 氏

講演2「牛のウィルス性呼吸器病について（仮）」

講師 山形県農業共済組合連合会 置賜家畜診療所 副所長 加藤 敏英 氏

参加に関するお問い合わせは価格安定・衛生課まで Tel 017-722-4331（担当：鹿内）

協会職員に
新しい家族が
誕生しました



3月に女の子が無事に生まれました！

秋から仕事に復帰します。

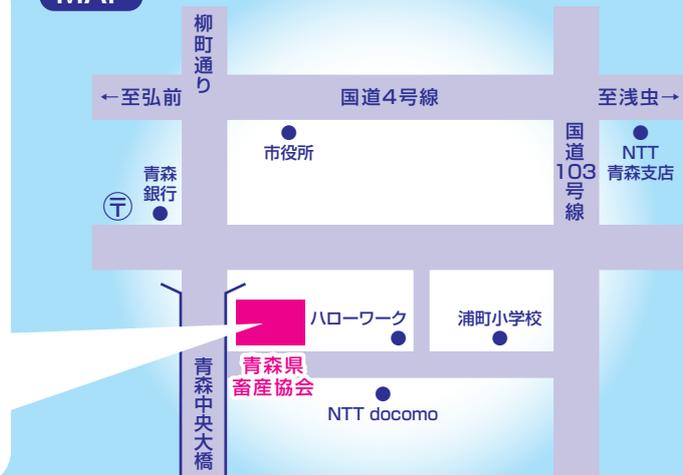
またよろしくお願ひします♪

by 太田 亜夢子

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル）

総務課 Tel(017)723-2523(代)

経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課 Tel(017)722-4331(衛生)

Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp